

2025年9月19日

## 臨床研究に関する公開情報

京都田辺中央病院臨床薬剤部では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究の計画書・研究方法についての資料や患者さん自身の情報についてお知りになりたい場合、この研究に患者さんご自身のカルテ情報を利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

### 1. 研究課題名

腎機能およびアルブミン値が補正カルシウム・未補正カルシウムの評価精度に及ぼす影響の検討

### 2. 研究責任者

京都田辺中央病院 臨床薬剤部部長 村岡淳二

### 3. 研究の背景

血液中のカルシウムを測定する際、アルブミンという蛋白質の量が少ないと測定値が実際より低く出てしまうことが知られています。そのため「補正カルシウム」という計算値が良く使われています。しかし、この「補正カルシウム」も腎機能の影響を受けたり、より正確とされる「イオン化カルシウム」との間に違いがあつたりすることが指摘されています。

この研究では、実際の検査データをもとに、「補正カルシウム」と通常の「カルシウム」の正確さを比較します。

### 4. 研究の目的

腎機能やアルブミン値の違いによって、「補正カルシウム」と通常の「カルシウム」が、「イオン化カルシウム」とどの程度一致するのかを調べます。そして、臨床の場でカルシウムの評価を行う際に、どちらの指標がより正確に役立つかを明らかにすることを目的とします。

### 5. 研究の対象者

2023年10月～2025年3月に当院で血清カルシウムおよびイオン化カルシウムを測定した入院患者さん。

利用する情報は、血清アルブミン値、腎機能（eGFR）、血清カルシウム値、イオン化カルシウム値です。

本研究は観察研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲、費用負担はありません

#### 6. 資料の管理

患者さんのデータは研究担当者が責任をもって匿名化しますので、他者にはその情報が誰のものかわかりません。個人情報の保護には十分に注意を払います。

研究へのデータ提供や研究への参加・不参加による利益・不利益もありません。

今回、集めた資料は研究発表に使用します。もし患者さんご自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合は、隨時下記問い合わせ先までご連絡ください。なお、すでに研究成果が公表されていた場合は、結果を取りやめることのできない場合もあります。

この研究計画にご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

#### 7. 研究機関情報

研究機関名：京都田辺中央病院

院長：野口 明則

#### 8. 問い合わせ先

研究担当者 京都田辺中央病院 臨床薬剤部 谷村 朋子

電話 0774-63-1111 (平日：9：00～17：00)